下呂市電子入札実施要領

平成18年 8月28日

平成21年 1月 1日訂正

(目的)

第1条 この要領は、下呂市契約規則（平成16年下呂市規則第47号。以下「規則」という。）第21条の2（規則第23条において準用する場合を含む。）の規定に基づき、下呂市が発注する建設工事及び建設工事に係る測量・設計業務委託の競争入札の手続きを岐阜県市町村共同電子入札システム（以下「電子入札システム」という。）により実施する場合において、規則に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(入札参加者の指名等)

第2条 契約担当者は、入札手続を電子入札により行う場合（以下「電子入札による場合」という。）は、電子入札システムにより規則第23条第1項に規定する入札参加者の指名及び同条第2項に規程する入札の通知（以下「入札の通知」という。）を行うものとする。

2 契約担当者は、電子入札システムによる入札の通知が困難な場合には、書面により入札の通知を行うものとする。

(入札書)

第3条 入札書は、電子入札による場合は、契約担当者があらかじめ指定する日時までに電子入札システムにより提出するものとする。ただし、契約担当者の承諾を得て又は契約担当者の指示により入札書を書面で提出する場合（以下「書面入札」という。）は、規則第14条の規程によるものとする。

(入札の辞退)

第4条 入札参加者は、入札を辞退するときは、電子入札システムにより入札辞退届を提出するものとする。ただし、やむを得ないと認められる場合には、契約担当者の承諾を得て、書面により提出することができる。

(入札の無効)

第5条 第3条の入札書を電子入札システムにより提出した場合は、電子認証書（電子入札コアシステムを管理する財団法人日本建設情報総合センターが指定する認証局が発行する電子証明書が格納されたICカードをいう。）を取得していない者の入札は無効とする。

(開札)

第6条 契約担当者は、入札において書面入札がある場合には、電子入札システムによる入札の締切り後、当該入札書記載金額を電子入札システムに登録するものとする。

2 契約担当者は、希望する入札参加者の立会いのうえで、電子入札システムにより開札を行うものとする。この場合において、入札参加者が立ち会わないときは、当該入札事務に関係のない職員を立ち合わせて行うものとする。

3 前項の開札の場所及び日時は、入札の通知の際に示すものとする。

(くじによる落札者の決定)

第7条 前条第2項の開札の結果、落札者となるべき同価の入札をしたものが2人以上あるときは、電子入札システムにより、当該同価の入札に係るくじを行って落札者を定めるものとする。ただし、書面による者が含まれている場合等、電子入札システムによる実施が困難な場合は、契約担当者が指定する場所及び日時において、当該同価の入札に係る入札参加者にくじを引かせて落札者を定めるものとする。

(委任状)

第8条 入札参加者が電子入札により入札を行った場合で、代理人が第6条第2項の開札に立ち会い、又は前条のくじを引く場合は、あらかじめ委任状を提出させるものとする。

(その他)

第9条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は、別に定めるものとする。